



厚生労働省発表
平成20年12月10日

担 当	厚生労働省大臣官房統計情報部 社会統計課縦断調査室
	担当係 : 中高年者調査係 電話 : 03-5253-1111 (内線 7594) 03-3595-2413 (ダイヤル)

第3回中高年者縦断調査

(中高年者の生活に関する継続調査) 結果の概況要旨

中高年者縦断調査は、平成17年10月末に50～59歳であった全国の男女を対象とする調査で、毎年同じ方を続けて調査対象とする「縦断調査」です。

第3回調査時の調査対象者は、52～61歳で、第1回調査から第3回調査まで回答をいただいた29,772人を集計した結果です。

結果のポイントは以下のとおりです。

・ 家族の状況

夫婦のみの世帯が増えている。 (概況3頁)

同居者の構成を、第1回調査(2年前)と比較すると、子と暮らしている世帯(「親なし子ありの世帯」)が39.2%から34.8%、三世帯世帯が22.4%から19.3%に減少し、夫婦のみの世帯が20.4%から25.9%に増加した。

・ 健康の状況

健康維持のために続けて心がけていることがある者は、心がけていることがない者より健康状態がよい割合が高い。 (概況7頁)

「年に1回以上人間ドックを受診する」「適度な運動をする」など、第1回調査から健康維持のために心がけていることがある者では、心がけていることは「特になし」と回答した者に比べて第3回調査の健康状態がよい割合が高くなっている。

・ 就業の状況

60・61歳の男ではずっと仕事をしている者が7割以上。 (概況13頁)

仕事をしたいと考えていた60・61歳の8割以上が仕事をしている。 (概況17頁)

男の60・61歳では、第1回調査から第3回調査までの間に「退職」した者は11.2%、第1回調査から「ずっと仕事をしている」者は76.5%となっている。

60・61歳の70.5%が第1回調査時に「60歳以降も『仕事をしたい』」と回答しており、このうち、第3回調査時に仕事をしている者は82.3%となっている。



厚生労働省発表
平成20年12月10日

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課縦断調査室
担当係：中高年者調査係
電話：03-5253-1111（内線7594）
03-3595-2413（ダイヤルイン）

第3回中高年者縦断調査 （中高年者の生活に関する継続調査）結果の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	3
1 家族の状況	3
1 - 1 配偶者及び同居者の状況の変化	3
1 - 2 介護をしている者の状況	5
2 健康の状況	7
2 - 1 健康状態	7
2 - 2 過去1か月間に感じたこと	11
3 就業の状況	13
3 - 1 就業状況の変化	13
3 - 2 第1回で回答した60歳以降の生活と就業状況	16
3 - 3 仕事をやめた者の状況	19
参 考	23
用語の定義	24

第3回中高年者縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス（<http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html>）

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、団塊の世代を含む全国の中老年者世代の50歳から59歳の男女を追跡して、その『健康・就業・社会活動』について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画、実施、評価のための基礎資料を得ることを目的として、平成17年度を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成17年10月末現在で50～59歳である全国の男女を対象とし、そのうち、第1回調査又は第2回調査において協力を得られた者を客体とした。

第3回調査における対象者の年齢は、52～61歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年1回（11月の第一水曜日）

調査の期日 第3回調査 平成19年11月7日（水）

4 調査の事項

家族の状況、健康の状況、就業の状況（資格、能力開発を含む。）、住居・家計の状況 等

5 調査の方法

(1) あらかじめ調査員が配布した調査票に被調査者が自ら記入し、後日、密封方式により調査員が回収する方法により行った。

(2) 第1回調査以降に転出した者は、厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

6 調査の系統

(1) 厚生労働省 ―― 都道府県 ―― 保健所 ―― 調査員 ―― 被調査者
 └ 保健所設置市 ──┘
 特 別 区

(2) 厚生労働省 ―― 被調査者
 郵送

7 結果の集計及び集計客体

(1) 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

(2) 調査客体数等

調査客体数、回収客体数は以下のとおりである。

	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回調査	40,877	34,240	83.8%
第2回調査	35,007	32,285	92.2%
第3回調査	32,195	30,730	95.4%

(3) 集計客体数

本概況では、第1回調査から第3回調査まで集計可能である29,772を集計客体とした。

8 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	-
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(3) この概況の掲載の数値には、統計数が僅少のため利用する際に注意が必要なものが含まれる。

結果の概要

1 家族の状況

1-1 配偶者及び同居者の状況の変化

夫婦のみの世帯が増加し、子と同居している世帯が減少した。

配偶者の状況を見ると、第3回「配偶者あり」の割合は、85.7%となっている。第1回「配偶者なし」のうち5.4%が第3回「配偶者あり」、第1回「配偶者あり」のうち1.3%が第3回「配偶者なし」となっている。(表1)

親との同別居状況を見ると、「親と同居している」(第1回28.7%、第3回25.6%)、「親と別居している」(第1回39.5%、第3回26.8%)とも減少している(図1)。

第1回の同居者の構成別に、第3回の同居者の構成を見ると、「夫婦のみの世帯」(第1回20.4%、第3回25.9%)は増加し、「親なし子ありの世帯」(第1回39.2%、第3回34.8%)、「三世帯世帯」(第1回22.4%、第3回19.3%)は減少した(表2)。

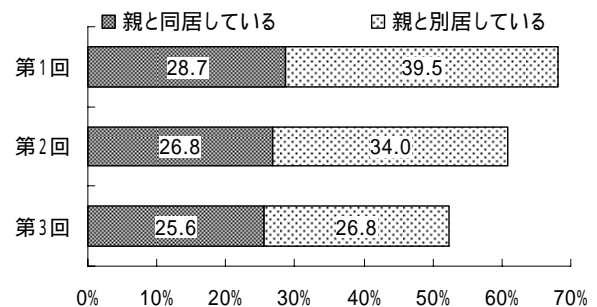
表1 配偶者の状況

(単位: %)

	第3回の配偶関係			
	総数	配偶者あり	配偶者なし	
第1回の配偶関係	(100.0)	100.0	85.7	14.1
配偶者あり	(86.3)	100.0	98.4	1.3
配偶者なし	(13.6)	100.0	5.4	94.4

注: 総数には、配偶者の有無不詳を含む。

図1 親との同別居状況



注: 1) 総数には同居者の状況不詳を含む。
2) 親には配偶者の父母を含み、同居・別居ともに親がいる場合は、同居に計上している。

表2 第1回の同居者の構成別にみた第3回の同居者の構成

(単位: %)

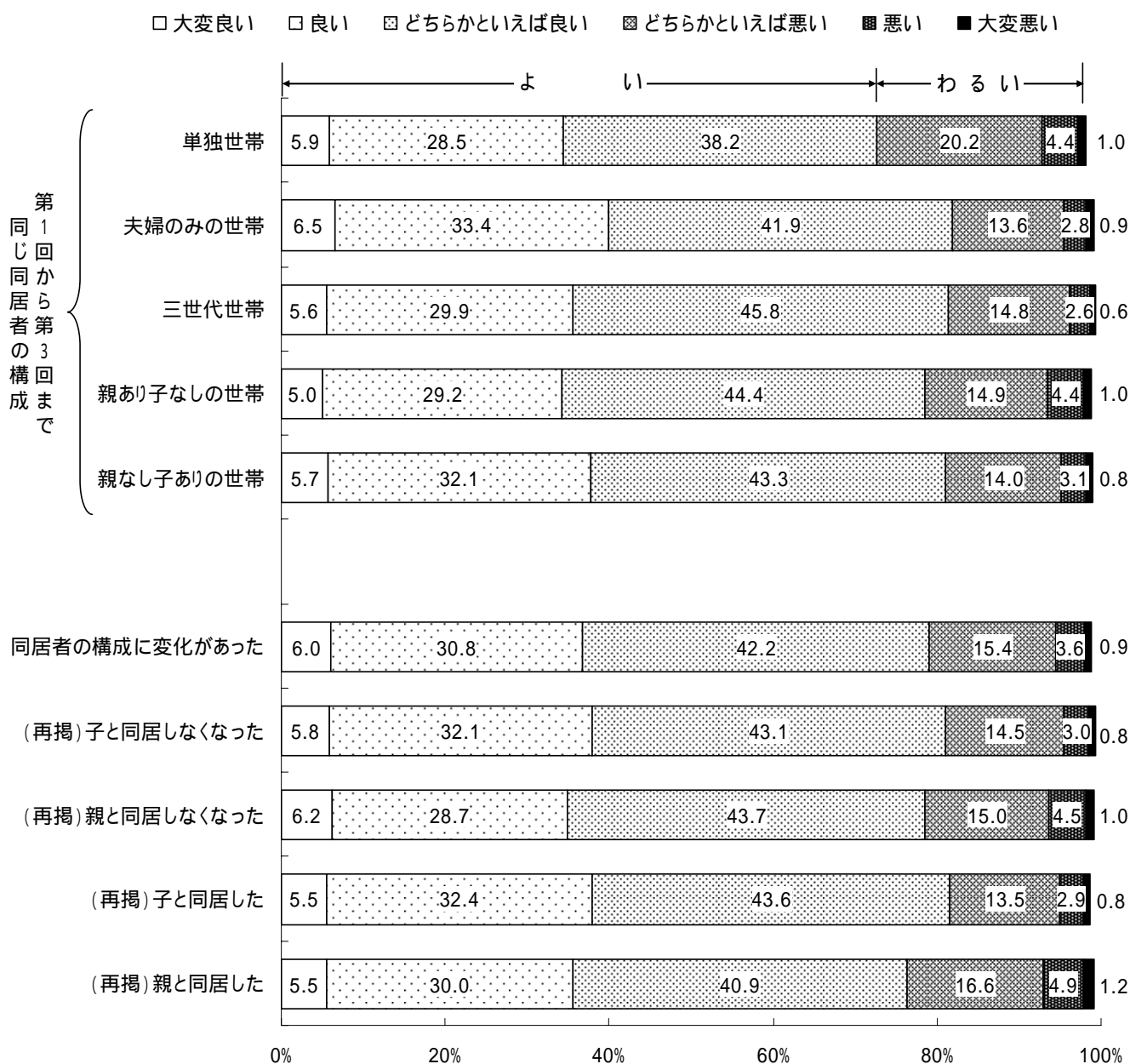
	第3回の同居者の構成							
	総数	単独世帯	夫婦のみの世帯	三世帯世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯	
第1回の同居者の構成	(100.0)	100.0	6.7	25.9	19.3	10.6	34.8	1.1
単独世帯	(5.7)	100.0	78.2	4.4	2.4	3.4	6.5	1.7
夫婦のみの世帯	(20.4)	100.0	1.7	81.4	3.1	1.9	8.9	0.6
三世帯世帯	(22.4)	100.0	1.1	6.5	72.4	9.3	9.7	0.3
親あり子なしの世帯	(10.5)	100.0	4.8	8.7	9.4	73.2	1.4	1.3
親なし子ありの世帯	(39.2)	100.0	2.1	16.2	3.3	0.3	77.0	0.3
その他の世帯	(0.9)	100.0	13.9	12.9	1.8	4.6	7.5	56.1

注: 総数には同居者の構成不詳を含む。

夫婦のみの世帯では健康状態のよい割合が高く、単独世帯では健康状態のわるい割合が高い。

同居者の構成別に第3回の健康状態をみると、第1回から第3回まで「夫婦のみの世帯」は、健康状態がよい(「大変良い」「良い」「どちらかといえば良い」)の割合が高く、「単独世帯」では、わるい(「どちらかといえば悪い」「悪い」「大変悪い」)の割合が高くなっている(図2)。

図2 同居者の構成別にみた第3回の健康状態



注: 各項目の総数には健康状態の不詳を含む。

1 - 2 介護をしている者の状況

男の8.1%、女の13.3%が介護をしており、自分の母・配偶者の母を介護している割合が多い。
介護をしている者では健康状態のよい割合が低い。

性・年齢階級別に第3回の介護の状況をみると、「介護している」割合は、男「60・61歳」(8.7%)、女「55～59歳」(14.0%)が高い。介護をしている相手は、男は「自分の母」(4.9%)、女は「自分の母」(5.8%)「配偶者の母」(4.6%)の割合が多くなっている。(表3)

第3回の健康状態をみると、第3回に介護をしている者は総数と比較して「大変良い」「良い」の割合が低く、わるい(「どちらかといえば悪い」「悪い」「大変悪い」)の割合が高くなっている。「(再掲)第1回から介護をしている」も、同じような傾向となっている。(図3)

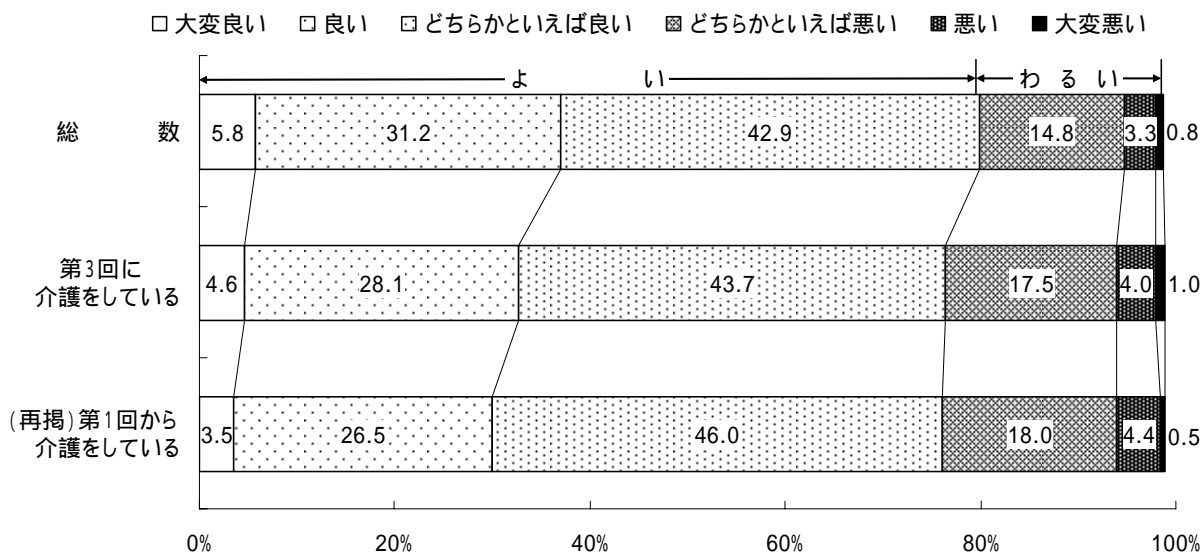
表3 性・年齢階級別にみた第3回の介護の状況

(単位: %)

	男				女			
		52～54歳	55～59歳	60・61歳		52～54歳	55～59歳	60・61歳
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
介護している	8.1	6.8	8.4	8.7	13.3	12.7	14.0	11.9
子	0.3	0.3	0.4	0.3	0.5	0.5	0.6	0.6
自分の父	1.9	2.1	1.9	1.8	2.1	2.3	2.4	1.1
自分の母	4.9	3.9	5.2	5.3	5.8	5.8	6.1	5.3
配偶者の父	0.5	0.5	0.5	0.5	1.4	1.9	1.3	0.8
配偶者の母	1.0	0.8	1.0	1.4	4.6	4.3	4.8	4.4
孫	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1
兄弟姉妹	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2	0.3
その他の親族	0.1	0.0	0.1	0.2	0.4	0.3	0.4	0.4
その他	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.1	0.4	0.2
介護していない	84.5	86.7	84.2	82.5	77.4	79.8	76.5	76.6
不詳	7.4	6.5	7.4	8.8	9.4	7.5	9.5	11.6

注：1) 介護をしているには介護相手の不詳を含む。
2) 介護をしている相手の続柄は複数回答である。

図3 第3回に介護をしている者の健康状態



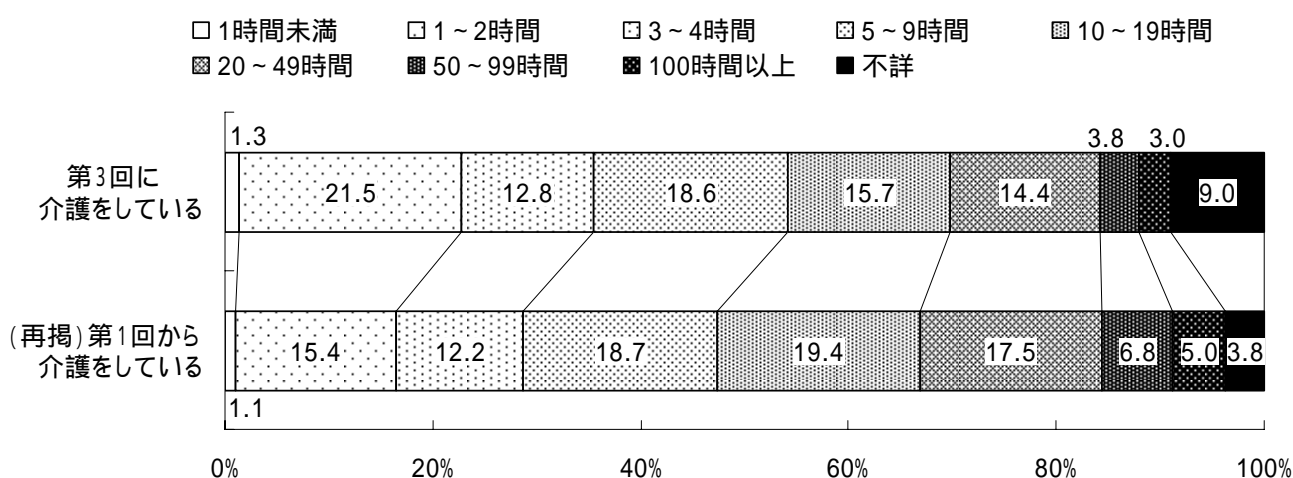
注：1) 「(再掲)第1回から介護をしている」は、第1回から介護をしている相手が同じ者を集計。
2) 総数には介護の有無・健康状態の不詳、他の項目には健康状態の不詳を含む。

第1回から介護をしている者や女では介護時間が長い割合が高い。

第3回の介護時間をみると、1週間当たりの介護時間は「1～2時間」(21.5%)の割合が多い。「(再掲)第1回から介護をしている」では、「10～19時間」(19.4%)、「5～9時間」(18.7%)の割合が多くなっている(図4)。

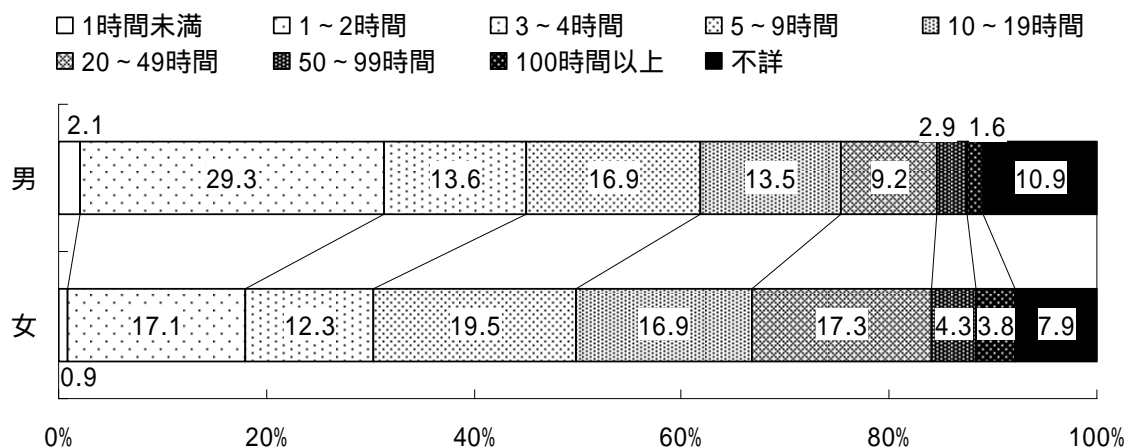
また、介護時間を男女別にみると、1週間当たりの介護時間は、男は「1～2時間」(29.3%)、女は「5～9時間」(19.5%)の割合が多く、女の方が介護時間の長い割合が高くなっている(図5)。

図4 第3回の1週間当たりの介護時間



注: 「(再掲)第1回から介護をしている」は、第1回から介護をしている相手と同じ者を集計。

図5 性別にみた第3回の1週間当たりの介護時間



2 健康の状況

2 - 1 健康状態

(1)心がけていることと健康状態

「年に1回以上人間ドックを受診する」ことを心がけている者で、健康状態がよい者の割合が高い。

第1回から第3回まで健康維持のために心がけていることは、男は「適度な運動をする」(20.6%)、「食事の量に注意する」(19.6%)、女は「バランスを考え多様な食品をとる」(29.5%)、「食事の量に注意する」(27.7%)の割合が高くなっている。健康維持のために心がけていること別に第3回の健康状態をみると、男女とも「年に1回以上人間ドックを受診する」で健康状態が「よい」の割合が高い。「大変良い」の割合は、男では「適度な運動をする」「適正体重を維持する」、女では「ストレスをためない」「適度な運動をする」で高く、「大変悪い」の割合は、男女とも心がけている事は「特にない」で高くなっている。(表4)

表4 性・第1回から第3回まで健康維持のために心がけていること別にみた第3回の健康状態

(単位: %)

	総数	第3回の健康状態								
		よい	大変良い	良い	いど えち ばら 良か いと	わる い	いど えち ばら 悪か いと	悪い	大変 悪い	
男	(100.0)	100.0	79.2	6.2	31.8	41.2	19.7	15.2	3.6	0.9
第1回から第3回まで健康維持のために心がけていること(複数回答)	(15.7)	100.0	82.5	6.8	33.9	41.7	16.8	13.4	3.0	0.4
お酒を飲み過ぎない	(8.0)	100.0	78.7	5.8	32.8	40.2	20.1	15.4	4.0	0.6
たばこを吸い過ぎない	(20.6)	100.0	84.9	9.3	37.5	38.1	14.4	11.2	2.6	0.6
適度な運動をする	(10.3)	100.0	86.7	7.2	38.3	41.2	12.3	10.4	1.3	0.5
年に1回以上人間ドックを受診する	(19.6)	100.0	79.4	7.5	32.4	39.5	19.6	14.5	4.4	0.7
食事の量に注意する	(12.3)	100.0	84.2	9.1	36.3	38.8	15.0	11.1	3.2	0.7
バランスを考え多様な食品をとる	(6.6)	100.0	80.0	6.2	32.8	41.1	19.0	15.7	2.8	0.5
錠剤等のビタミンやミネラルを摂取する	(16.9)	100.0	83.6	9.3	35.2	39.1	15.5	11.9	3.1	0.5
適正体重を維持する	(12.8)	100.0	84.5	7.9	36.1	40.6	14.8	11.5	2.9	0.4
食後の歯磨きをする	(12.7)	100.0	83.3	7.3	35.5	40.5	15.7	12.3	2.6	0.8
適度な休養をとる	(19.0)	100.0	85.3	8.4	36.7	40.2	14.2	11.2	2.6	0.3
ストレスをためない	(2.9)	100.0	74.2	3.6	28.3	42.3	25.1	19.8	3.6	1.7
特にない										
女	(100.0)	100.0	80.7	5.5	30.6	44.5	18.3	14.4	3.1	0.8
第1回から第3回まで健康維持のために心がけていること(複数回答)	(3.4)	100.0	81.3	6.8	35.1	39.4	18.1	15.8	2.3	-
お酒を飲み過ぎない	(2.5)	100.0	75.3	3.6	28.4	43.3	24.0	19.6	3.9	0.5
たばこを吸い過ぎない	(24.6)	100.0	86.7	8.1	35.8	42.7	12.8	10.7	1.9	0.2
適度な運動をする	(7.1)	100.0	87.5	6.1	34.3	47.1	12.2	10.4	1.2	0.6
年に1回以上人間ドックを受診する	(27.7)	100.0	82.4	5.7	31.4	45.3	16.8	13.4	2.7	0.7
食事の量に注意する	(29.5)	100.0	85.7	7.4	35.1	43.2	13.6	11.2	2.0	0.3
バランスを考え多様な食品をとる	(11.4)	100.0	79.1	5.0	27.8	46.4	20.4	16.0	3.8	0.6
錠剤等のビタミンやミネラルを摂取する	(23.0)	100.0	86.4	7.5	36.0	42.8	12.9	10.5	2.0	0.3
適正体重を維持する	(25.7)	100.0	84.8	6.0	33.7	45.1	14.5	11.5	2.5	0.5
食後の歯磨きをする	(18.8)	100.0	85.1	6.4	31.6	47.1	14.2	11.1	2.6	0.6
適度な休養をとる	(25.0)	100.0	86.0	8.2	35.1	42.7	13.3	10.7	2.3	0.3
ストレスをためない	(1.7)	100.0	76.1	4.3	29.4	42.4	23.1	18.0	3.5	1.6
特にない										

注：1) 総数には健康状態の不詳、男女には健康状態・健康維持のために心がけていることの不詳を含む。

2) ここの「錠剤等」とは、「錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状」のものをいう。

第3回の医師から診断されている6つの疾病をみると、「高血圧あり」は21.0%、「高脂血症あり」は11.8%となっている。第1回から第3回まで健康維持のために心がけていること別に、疾病の治療開始時期からの病状の変化をみると、心がけていることが「特にない」では、どの疾病でも「(再掲)よくなっている」に比べ「(再掲)変わらない」の割合が高くなっている。(表5)

表5 第1回から第3回まで健康維持のために心がけていること別にみた第3回の疾病の状況

(単位:%)

	第1回から第3回まで健康維持のために心がけていること(複数回答)														
	総数	お酒を飲み過ぎない	たばこを吸い過ぎない	適度な運動をする	年に1回以上人間ドックを受診する	食事の量に注意する	バランスを考えた多様な食品をとる	錠剤等のビタミンやミネラルを摂取する	適正体重を維持する	食後の歯磨きをする	適度な休養をとる	ストレスをためない	特にない		
第3回の医師から診断されている疾病の状況(複数回答)	総数	(100.0)	100.0	9.3	5.2	22.7	8.6	23.8	21.2	9.1	20.0	19.5	15.8	22.1	2.2
	糖尿病 あり	(8.1)	100.0	11.0	6.1	26.1	8.6	40.9	17.0	5.1	21.2	12.4	10.7	18.6	1.1
	(再掲)よくなっている	(2.5)	100.0	9.9	5.1	29.1	7.5	48.2	21.3	5.7	25.7	16.9	12.5	23.6	0.5
	(再掲)変わらない	(4.3)	100.0	11.5	6.6	26.1	9.0	40.1	15.8	4.8	20.8	10.1	10.1	16.6	1.2
	心臓病 あり	(3.3)	100.0	9.8	6.3	19.5	7.1	28.4	17.4	7.6	20.3	14.7	15.5	20.3	1.9
	(再掲)よくなっている	(1.0)	100.0	10.6	5.8	22.2	6.1	33.8	17.4	7.2	23.9	16.7	16.0	26.6	1.7
	(再掲)変わらない	(1.9)	100.0	10.2	5.9	18.5	7.7	27.8	17.6	7.8	18.9	13.7	15.3	19.6	2.0
	脳卒中 あり	(1.5)	100.0	9.9	4.7	21.1	6.7	25.6	15.3	4.7	15.7	10.8	10.8	20.4	2.5
	(再掲)よくなっている	(0.6)	100.0	10.3	3.4	23.0	8.6	30.5	17.8	9.2	18.4	14.9	16.1	26.4	2.3
	(再掲)変わらない	(0.7)	100.0	10.8	4.4	21.7	6.4	22.2	14.8	2.0	16.3	9.9	6.9	18.2	3.0
	高血圧 あり	(21.0)	100.0	12.6	5.4	22.8	9.1	26.8	18.9	8.5	19.6	17.6	14.7	21.6	1.6
	(再掲)よくなっている	(8.8)	100.0	13.9	5.6	26.1	10.1	30.1	22.1	9.3	22.1	21.3	17.1	24.9	1.3
	(再掲)変わらない	(10.4)	100.0	12.2	5.3	21.0	8.6	24.8	16.9	8.3	18.1	15.5	13.3	19.2	1.8
	高脂血症 あり	(11.8)	100.0	9.3	4.1	27.9	13.3	31.3	24.4	10.6	23.7	21.0	16.7	23.8	1.1
	(再掲)よくなっている	(3.8)	100.0	10.2	4.2	31.6	13.1	38.2	30.1	11.6	28.4	23.9	18.8	27.6	0.7
	(再掲)変わらない	(5.8)	100.0	9.9	4.5	26.8	14.1	29.1	21.2	10.3	22.2	19.7	16.3	22.3	1.3
	悪性新生物 あり	(1.8)	100.0	8.0	5.2	22.2	8.9	23.3	21.4	8.9	19.9	21.0	18.1	24.4	1.9
	(再掲)よくなっている	(1.1)	100.0	8.7	5.6	23.5	10.5	25.4	23.5	10.5	22.9	22.9	19.8	26.6	1.9
	(再掲)変わらない	(0.5)	100.0	5.9	3.7	18.5	8.1	23.7	20.0	6.7	16.3	23.7	14.8	23.0	2.2

注：1) 総数には疾病の有無・健康維持のために心がけていることの不詳、各疾病ありには、病状の変化・健康維持のために心がけていることの不詳を含む。

2) ここの「錠剤等」とは、「錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状」のものをいう。

(2) 健診受診の状況

健診を受診している割合は、女より男の方が高い。

第3回の健診受診の状況をみると、「受診した」は、男 75.2%、女 67.1%となっている。「(再掲)第1回から第3回まで受診していない」の割合は、男 11.5%、女 15.9%で、男より女の割合が高くなっている。(表6)

第1回から第3回までの就業状況の変化別に、第1回と第3回の健診受診の有無をみると、「退職」(第1回で仕事をしていて第3回までに仕事なしとなった者)は「第1回受診した・第3回受診していない」の割合が高く、「就業」(第1回で仕事なしで第3回までに仕事をしている者)は「第1回受診していない・第3回受診した」の割合が高くなっている。また、「ずっと仕事なし」では、「第1回受診していない・第3回受診していない」の割合が高くなっている。(図6)

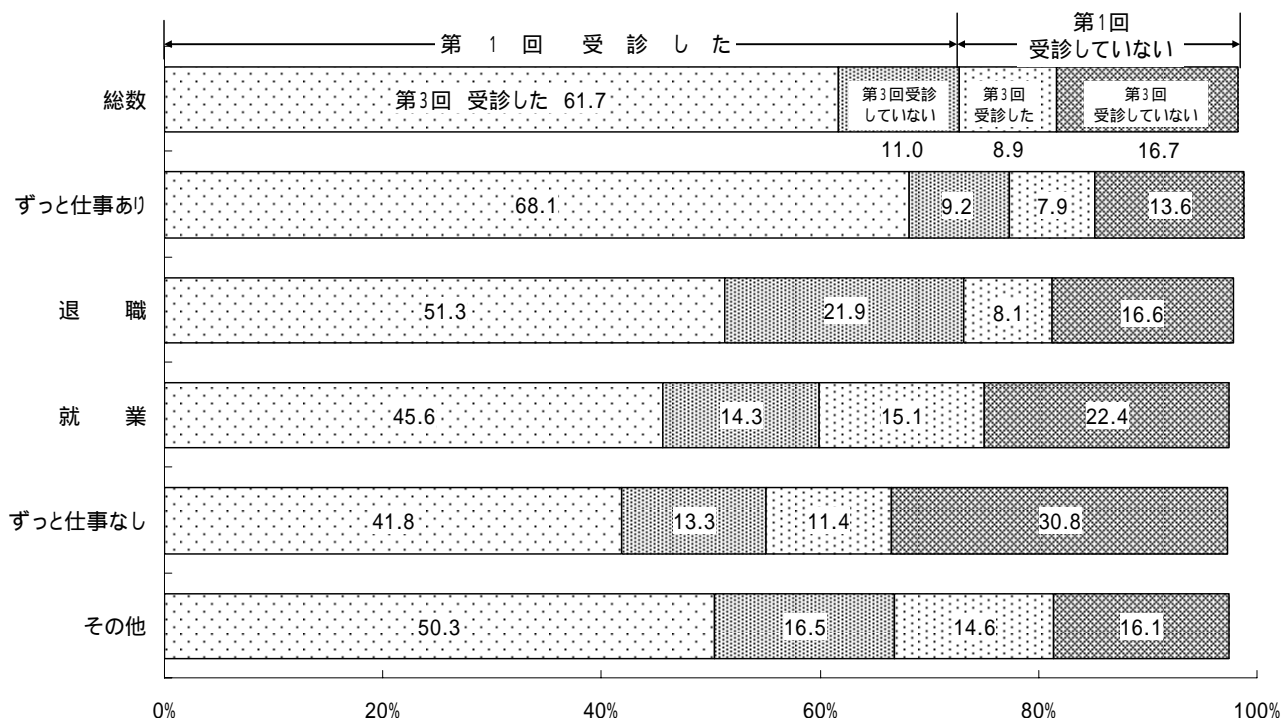
表6 第3回の健診受診の状況

(単位:%)

	総数	受診した						受診していない	第1(再掲)回から第3回まで健診を受診	第1(再掲)回から第3回まで受診していない
		異常なし	異常あり	治療が必要	指導が必要	再精密検査が必要				
男	100.0	75.2	35.2	38.9	17.2	8.8	12.3	24.0	62.0	11.5
女	100.0	67.1	35.3	30.4	14.3	7.5	8.0	32.0	50.1	15.9

注:総数には健診受診の有無の不詳、受診したには健診結果の不詳、異常ありにはその後の対応の不詳を含む。

図6 第1回から第3回までの就業状況の変化別にみた健診受診の状況



注:総数には就業状況の変化・健診受診の有無不詳、各項目の総数には健診受診の有無不詳を含む。

(3) 運動の状況と健康状態

第1回から第3回まで運動している者は、健康状態のよい割合が高い。

第3回の運動の状況をみると、「息がはずまない軽い運動」は男 30.5%、女 39.5%、「多少息がはずむ運動」は男 28.8%、女 30.5%が運動しているとなっており、男より女の割合が高くなっている(図7)。

運動の状況別に第3回の健康状態をみると、男女とも「第1回から第3回まで運動していない」に比べて、第1回から第3回まで運動している者の健康状態がよい(「大変良い」「良い」「どちらかといえば良い」)割合が高くなっている(図8)。

図7 性別にみた第3回の運動の状況

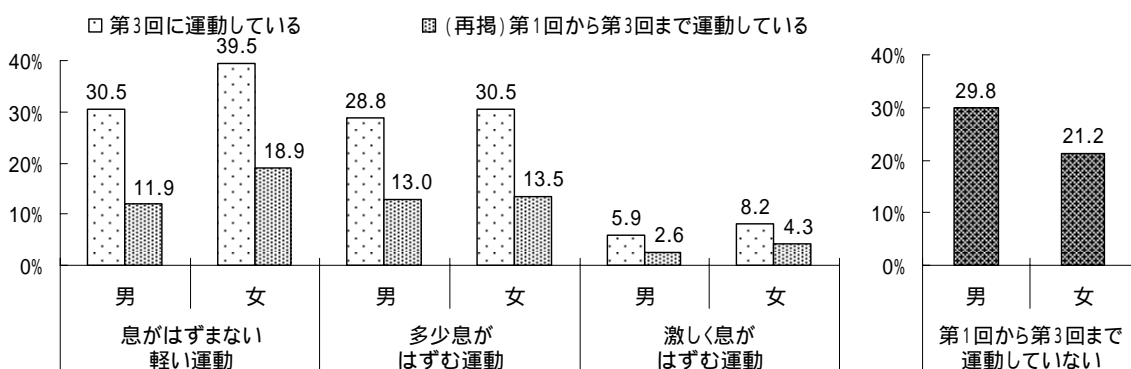
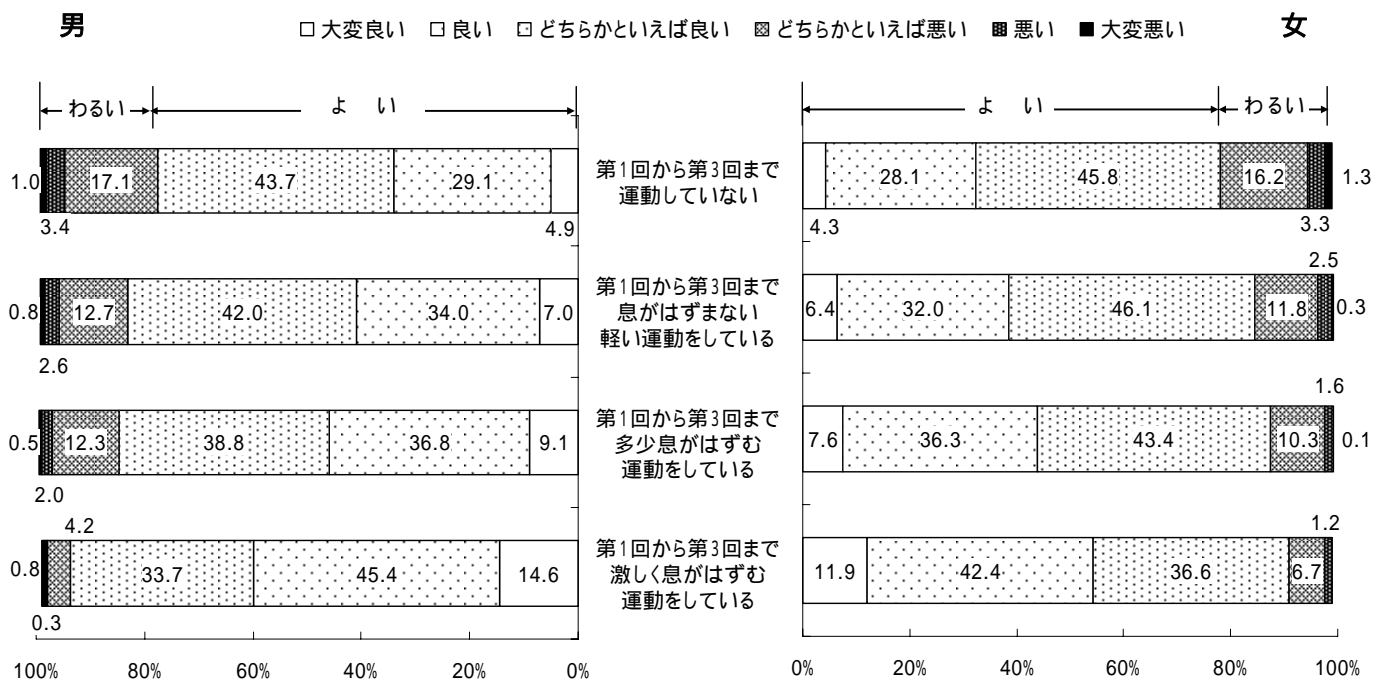


図8 性・第1回から第3回までの運動の状況別にみた第3回の健康状態



注: 各項目の総数には健康状態の不詳を含む。

2 - 2 過去1か月間に感じたこと

過去1か月間に神経過敏等の6項目について感じたことが少ない者は、健康状態のよい割合が高い。

第3回の過去1か月間に神経過敏等の6項目について感じたことをみると、「神経過敏に感じましたか」(47.4%)の割合が高く、第1回から「まったくない」の割合は、「自分は価値のない人間だと感じましたか」(52.1%)、「絶望的だと感じましたか」(51.0%)が高い。各項目とも「第1回から『まったくない』」者で、健康状態の「よい」割合が高くなっている。各項目とも「第1回から『いつも』又は『たいてい』」では健康状態の「よい」割合は低い、該当する者の割合は、1%未満と少ない。(表7)

表7 過去1か月間に感じたことの状況別にみた第3回の健康状態

(単位:%)

	第3回の健康状態									
	総数	よい	大変良い	良い	いど えち ばら 良か いと	わる い	いど えち ばら 悪か いと	悪い	大変悪い	
総数	(100.0)	100.0	80.0	5.8	31.2	42.9	19.0	14.8	3.3	0.8
神経過敏に感じましたか										
第3回でありと回答	(47.4)	100.0	71.7	2.3	23.1	46.4	27.4	20.8	5.2	1.4
(再掲)第1回から「いつも」又は「たいてい」	(0.9)	100.0	37.7	1.1	10.3	26.3	61.2	35.2	16.4	9.6
(再掲)第1回から「ときどき」又は「少しだけ」	(15.3)	100.0	76.1	1.7	22.9	51.5	23.3	19.5	3.4	0.4
第1回から「まったくない」	(27.2)	100.0	91.4	11.8	42.2	37.4	8.0	7.0	0.9	0.2
絶望的だと感じましたか										
第3回でありと回答	(24.9)	100.0	64.4	1.9	18.7	43.7	34.7	24.4	7.9	2.4
(再掲)第1回から「いつも」又は「たいてい」	(0.2)	100.0	23.9	-	7.0	16.9	73.2	31.0	23.9	18.3
(再掲)第1回から「ときどき」又は「少しだけ」	(6.0)	100.0	64.1	1.5	17.1	45.6	34.8	26.3	7.5	1.1
第1回から「まったくない」	(51.0)	100.0	88.5	8.2	38.2	42.1	10.9	9.5	1.1	0.2
そわそわ落ち着かなく感じましたか										
第3回でありと回答	(35.8)	100.0	70.1	2.2	21.7	46.2	29.1	21.9	5.6	1.6
(再掲)第1回から「いつも」又は「たいてい」	(0.3)	100.0	35.4	2.5	3.8	29.1	62.0	32.9	15.2	13.9
(再掲)第1回から「ときどき」又は「少しだけ」	(11.6)	100.0	71.9	1.5	20.9	49.4	27.3	21.8	4.5	1.0
第1回から「まったくない」	(37.5)	100.0	89.0	9.5	39.8	39.7	10.3	8.7	1.2	0.3
気分が沈み込んで、何が起ころとも 気が晴れないように感じましたか										
第3回でありと回答	(42.7)	100.0	70.3	2.4	22.2	45.6	28.9	21.6	5.7	1.5
(再掲)第1回から「いつも」又は「たいてい」	(0.5)	100.0	30.3	0.7	6.6	23.0	68.4	34.2	21.1	13.2
(再掲)第1回から「ときどき」又は「少しだけ」	(14.6)	100.0	72.1	1.5	20.8	49.8	27.0	22.1	4.3	0.6
第1回から「まったくない」	(31.5)	100.0	90.8	10.3	41.1	39.3	8.6	7.4	1.0	0.2
何をするのも骨折りだと感じましたか										
第3回でありと回答	(42.4)	100.0	70.6	2.3	22.0	46.2	28.6	21.7	5.5	1.4
(再掲)第1回から「いつも」又は「たいてい」	(0.5)	100.0	27.7	0.6	6.9	20.1	71.7	35.2	23.3	13.2
(再掲)第1回から「ときどき」又は「少しだけ」	(14.5)	100.0	72.8	1.6	20.5	50.8	26.3	21.5	4.0	0.8
第1回から「まったくない」	(31.3)	100.0	90.9	10.6	41.7	38.6	8.5	7.2	1.1	0.2
自分は価値のない人間だと感じましたか										
第3回でありと回答	(24.5)	100.0	67.5	2.0	20.0	45.4	31.7	23.3	6.7	1.7
(再掲)第1回から「いつも」又は「たいてい」	(0.3)	100.0	35.1	-	8.5	26.6	63.8	37.2	18.1	8.5
(再掲)第1回から「ときどき」又は「少しだけ」	(7.0)	100.0	70.5	1.6	19.6	49.4	28.9	22.5	5.3	1.1
第1回から「まったくない」	(52.1)	100.0	86.5	8.0	36.9	41.6	12.7	10.6	1.7	0.4

注：1) 総数には健康状態・過去1か月間に感じたことの状況不詳を含む。

2) 「あり」は、各項目に「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」と回答した者。

第1回から第3回までの就業状況の変化別に、過去1か月間に神経過敏等の6項目について感じたことをみると、男女とも「ずっと仕事なし」では「ずっと仕事あり」に比べて感じている割合が高くなっているが、差は女の方が少なくなっている(表8)。

表8 性・第1回から第3回までの就業状況の変化別にみた過去1か月間に感じたこと

(単位: %)

	第1回から第3回までの就業状況の変化							
	総数	ずっと仕事あり			就業	退職	ずっと仕事なし	その他
			(再掲) 離職なし	(再掲) 離職あり				
男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
神経過敏に感じましたか	43.6	42.8	42.9	43.1	49.0	46.2	55.4	42.9
絶望的だと感じましたか	23.9	22.4	22.1	24.8	25.3	33.2	41.3	27.6
そわそわ、落ち着かなく感じましたか	34.8	34.0	34.0	34.4	37.3	38.4	47.4	34.4
気分が沈みこんで、何が起っても 気が晴れないように感じましたか	39.5	38.5	38.6	38.3	42.0	44.8	55.2	39.1
何をするのも骨折りだと感じましたか	40.5	39.8	40.0	38.6	41.7	44.2	52.6	42.2
自分は価値のない人間だと感じましたか	23.8	22.3	22.1	25.9	27.7	30.6	43.7	26.9
女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
神経過敏に感じましたか	51.0	50.0	49.6	55.7	50.1	51.5	53.9	49.8
絶望的だと感じましたか	25.9	25.4	24.9	31.0	24.8	27.4	26.8	27.7
そわそわ、落ち着かなく感じましたか	36.8	35.8	35.2	41.9	37.7	38.1	38.9	37.4
気分が沈みこんで、何が起っても 気が晴れないように感じましたか	45.7	45.1	44.7	49.6	44.3	46.8	47.4	47.6
何をするのも骨折りだと感じましたか	44.2	43.6	43.3	44.8	44.7	43.0	46.3	45.6
自分は価値のない人間だと感じましたか	25.3	23.9	23.7	26.7	26.9	26.5	27.9	26.5

注：1) 総数には就業状況の変化・過去1か月間に感じたことの状況不詳を含む。

2) 各項目に「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」と回答した者を集計。

3 就業の状況

3 - 1 就業状況の変化

60・61歳の1割以上が退職しているが、男の76.5%は「ずっと仕事あり」

性・年齢階級別に第1回から第3回までの就業状況の変化をみると、「ずっと仕事あり」は男86.4%、女59.1%となっている。「退職」(第1回で仕事をしていて第3回までに仕事なしとなった者)の割合は、「60・61歳」で男11.2%、女11.9%と高くなっている。男の「60・61歳」では、転職した(「ずっと仕事あり」の「(再掲)離職あり」)割合も12.4%と高く、「ずっと仕事あり」は76.5%となっている。(表9)

第1回と第3回の仕事のかたち別にみると、「正規の職員・従業員」は、第1回から第3回で減少(男56.0%から47.7%、女18.5%から15.6%)し、男の「契約社員・嘱託」は、第1回3.3%から第3回6.4%へ増加した。これらを「(再掲)60・61歳」でみると、男の「正規の職員・従業員」は第1回の48.8%から第3回22.4%へ減少し、「契約社員・嘱託」は第1回4.2%から第3回16.9%と増加している。(表10)

表9 性・年齢階級別にみた第1回から第3回までの就業状況の変化

(単位:%)

	第1回から第3回までの就業状況の変化									
	総数	ずっと 仕事あり	(再掲) 離職なし	(再掲) 離職あり	就業	退職	(再掲) 定年退職	ずっと 仕事なし	(再掲) 離職なし	その他
男	100.0	86.4	76.1	6.6	2.1	5.3	1.4	3.8	3.0	2.0
52～54歳	100.0	91.0	82.4	5.0	2.0	3.1	0.0	2.1	1.6	1.6
55～59歳	100.0	87.8	78.7	5.2	2.1	4.3	0.4	3.7	2.9	1.8
60・61歳	100.0	76.5	60.4	12.4	2.2	11.2	6.1	6.4	5.3	3.4
女	100.0	59.1	51.7	5.2	4.6	8.1	0.9	24.8	20.5	2.9
52～54歳	100.0	65.6	57.6	5.5	5.2	6.7	0.0	18.8	15.4	3.4
55～59歳	100.0	60.0	52.8	5.1	4.5	7.5	0.2	24.7	20.7	2.9
60・61歳	100.0	47.6	40.4	5.1	4.1	11.9	3.9	33.4	27.1	2.6

注:総数には就業状況の変化不詳を含む。

表10 性・第1回の仕事のかたち別にみた第3回の仕事のかたち

(単位:%)

	総 数	第3回の仕事のかたち												
		仕事 をして いる	自 営 業 主	家 族 従 業 者	会 社 ・ 団 体 等 の 役 員	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	パ ー ト ・ ア ル パ イ ト	労 働 者 派 遣 事 業 所 の 派 遣 社 員	契 約 社 員 ・ 嘱 託	家 庭 で の 内 職 な ど	そ の 他	仕事 をして いない		
第 1 回 の 仕 事 か た ち	総数													
	男	(100.0)	100.0	90.3	20.0	0.7	8.0	47.7	3.9	0.7	6.4	0.1	2.0	9.5
	仕事をしている	(93.7)	100.0	94.1	21.1	0.7	8.5	50.3	3.6	0.7	6.5	0.1	2.0	5.7
	自営業主	(20.4)	100.0	96.9	85.8	1.0	3.3	2.3	1.3	0.1	1.2	0.0	1.3	2.9
	家族従業者	(0.7)	100.0	92.2	33.3	52.0	1.0	2.0	-	-	2.9	-	1.0	5.9
	会社・団体等の役員	(8.0)	100.0	96.4	9.0	0.5	63.7	17.7	0.9	-	2.4	-	1.1	3.4
	正規の職員・従業員	(56.0)	100.0	93.7	1.4	0.1	3.7	77.9	2.3	0.4	6.3	0.0	1.2	6.1
	パート・アルバイト	(2.7)	100.0	85.8	5.7	-	0.5	11.4	50.8	1.8	8.8	0.3	4.4	14.0
	労働者派遣事業所の派遣社員	(0.5)	100.0	90.9	6.5	-	1.3	16.9	7.8	39.0	9.1	-	7.8	9.1
	契約社員・嘱託	(3.3)	100.0	89.7	2.9	-	1.3	19.2	7.3	2.3	53.8	-	2.7	10.3
	家庭での内職など	(0.1)	100.0	87.5	25.0	-	-	-	12.5	-	-	37.5	12.5	12.5
その他	(1.7)	100.0	88.2	12.2	0.8	3.4	26.9	6.3	2.5	3.8	-	29.4	11.3	
仕事をしていない	(6.3)	100.0	33.1	4.3	0.7	1.2	9.1	8.2	1.2	4.9	0.1	2.5	65.6	
第 2 回 の 仕 事 か た ち	女	(100.0)	100.0	65.6	5.1	8.2	2.0	15.6	27.5	0.5	3.3	1.3	1.8	34.1
	仕事をしている	(69.2)	100.0	88.1	7.0	11.1	2.8	22.3	35.7	0.6	4.5	1.5	2.2	11.7
	自営業主	(5.2)	100.0	91.4	65.9	13.7	2.1	1.1	2.5	-	1.1	0.6	3.5	8.1
	家族従業者	(8.7)	100.0	93.3	9.9	72.6	2.6	1.2	4.5	0.1	0.2	0.3	1.6	6.7
	会社・団体等の役員	(2.0)	100.0	92.2	7.8	11.7	58.0	10.7	1.6	-	0.3	0.3	1.3	7.8
	正規の職員・従業員	(18.5)	100.0	89.9	0.4	0.6	1.9	75.3	6.3	0.2	3.4	0.1	1.2	9.8
	パート・アルバイト	(27.9)	100.0	85.8	0.7	0.7	0.2	2.7	77.5	0.3	2.3	0.2	1.2	13.9
	労働者派遣事業所の派遣社員	(0.4)	100.0	83.6	-	-	1.6	8.2	21.3	45.9	4.9	-	-	16.4
	契約社員・嘱託	(3.2)	100.0	88.9	0.8	0.6	-	7.4	23.9	2.8	50.3	-	2.2	10.9
	家庭での内職など	(1.6)	100.0	73.9	2.5	1.2	-	-	11.2	-	1.2	53.1	3.7	26.1
	その他	(1.5)	100.0	75.1	4.4	3.5	-	5.2	20.1	-	7.9	2.2	30.6	24.5
仕事をしていない	(30.7)	100.0	15.1	0.8	1.5	0.4	0.5	9.0	0.2	0.5	1.0	1.0	84.4	
第 3 回 の 仕 事 か た ち	(再掲)60・61歳													
	男	(100.0)	100.0	81.5	21.1	0.9	8.2	22.4	7.5	1.0	16.9	0.1	2.7	18.2
	仕事をしている	(90.7)	100.0	87.5	22.9	0.8	8.9	24.3	7.6	1.0	18.2	0.1	2.8	12.3
	自営業主	(21.2)	100.0	96.6	85.4	1.3	2.9	1.9	1.7	-	1.2	0.2	1.2	3.2
	家族従業者	(0.5)	100.0	93.3	33.3	46.7	-	-	-	-	6.7	-	6.7	6.7
	会社・団体等の役員	(9.5)	100.0	93.6	8.3	0.8	60.8	13.6	1.1	-	6.4	-	1.9	6.4
	正規の職員・従業員	(48.8)	100.0	82.8	2.5	0.1	3.3	39.2	7.3	1.1	26.7	0.1	2.0	17.0
	パート・アルバイト	(3.5)	100.0	85.7	2.0	-	-	7.1	63.3	1.0	4.1	-	5.1	14.3
	労働者派遣事業所の派遣社員	(0.6)	100.0	88.2	-	-	-	5.9	17.6	35.3	23.5	-	5.9	11.8
	契約社員・嘱託	(4.2)	100.0	82.2	4.2	-	1.7	11.0	7.6	1.7	50.8	-	4.2	17.8
	家庭での内職など	(0.1)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-
その他	(1.8)	100.0	89.8	6.1	4.1	2.0	24.5	10.2	2.0	8.2	-	30.6	10.2	
仕事をしていない	(9.3)	100.0	23.9	3.5	1.2	1.5	3.5	7.3	0.8	3.5	-	1.9	75.3	
第 4 回 の 仕 事 か た ち	女	(100.0)	100.0	53.1	5.6	8.4	1.9	7.4	21.5	0.2	3.7	1.6	2.2	46.6
	仕事をしている	(61.0)	100.0	80.3	8.6	12.9	3.1	12.1	31.5	0.3	5.8	2.2	3.2	19.5
	自営業主	(5.6)	100.0	91.4	68.7	9.8	2.5	1.8	1.8	-	0.6	1.2	4.3	8.0
	家族従業者	(9.1)	100.0	92.5	9.0	71.9	2.6	1.5	4.1	-	-	0.4	2.6	7.5
	会社・団体等の役員	(2.3)	100.0	88.2	10.3	14.7	54.4	4.4	1.5	-	-	1.5	1.5	11.8
	正規の職員・従業員	(14.2)	100.0	75.1	0.2	0.5	1.2	44.5	11.7	-	13.4	-	2.4	24.6
	パート・アルバイト	(22.5)	100.0	78.3	0.8	0.6	0.3	1.2	70.6	0.2	2.4	0.6	1.5	21.5
	労働者派遣事業所の派遣社員	(0.3)	100.0	60.0	-	-	-	10.0	20.0	30.0	-	-	-	40.0
	契約社員・嘱託	(2.6)	100.0	73.7	1.3	1.3	-	7.9	26.3	2.6	28.9	-	3.9	26.3
	家庭での内職など	(1.9)	100.0	75.0	3.6	3.6	-	-	5.4	-	1.8	57.1	3.6	25.0
	その他	(2.1)	100.0	67.2	3.3	4.9	-	4.9	18.0	-	11.5	-	24.6	32.8
仕事をしていない	(38.8)	100.0	10.5	1.0	1.2	0.1	-	5.7	0.1	0.4	0.7	0.6	89.1	

注：総数には仕事の有無・仕事のかたち不詳を含む。

第3回に 52～59 歳で、第1回の仕事のかたちが「会社・団体等の役員」「正規の職員・従業員」であった者について、第1回の勤め先の満足度別に就業状況の変化をみると、転職（「ずっと仕事あり」の「(再掲)離職あり」)の割合は、「勤め先の仕事について感じていること」の「不満」で高くなっている(表11)。

表11 第1回の勤め先の満足度別にみた就業状況の変化

(単位:%)

		第1回から第3回までの就業状況の変化						
		総数	ずっと 仕事あり	(再掲)		退職	その他	
				離職なし	離職あり			
第1回の勤め先の仕事について感じていること	第3回 52～59歳	(100.0)						
	能力の活用・発揮	(100.0)	100.0	95.9	87.6	4.0	2.7	1.4
	満足	(13.0)	100.0	95.2	88.4	4.4	3.1	1.7
	やや満足	(17.0)	100.0	93.3	85.8	5.4	5.0	1.5
	普通	(51.3)	100.0	91.6	84.7	5.5	6.2	1.8
	やや不満	(9.0)	100.0	89.6	80.7	7.6	5.7	4.8
	不満	(4.5)	100.0					
	職場の人間関係	(100.0)	100.0	95.1	87.3	3.9	3.7	1.2
	満足	(10.4)	100.0	95.5	88.3	4.3	3.0	1.4
	やや満足	(15.8)	100.0	93.6	86.6	5.1	4.6	1.6
	普通	(51.6)	100.0	92.6	84.0	6.4	5.5	1.6
	やや不満	(11.9)	100.0	88.2	79.2	8.3	6.9	4.5
	不満	(5.2)	100.0					
	労働条件	(100.0)	100.0	95.2	87.8	3.6	3.6	1.3
	満足	(10.1)	100.0	96.1	89.5	3.7	2.8	1.1
やや満足	(11.9)	100.0	93.6	86.5	4.7	4.6	1.6	
普通	(42.3)	100.0	93.4	86.2	5.7	4.8	1.7	
やや不満	(19.3)	100.0	90.2	79.9	9.0	6.4	3.2	
不満	(11.6)	100.0						

注: 総数には就業状況の変化不詳、各項目の総数には勤め先の満足度の不詳を含む。

第1回から第3回まで仕事のかたちが「自営業主」「家族従業者」であった者について、事業の後継者の状況をみると、第1回に「後継者育成中」の 39.2%が第3回に「後継者いる」となっている。第1回に「これから育成する」では 14.7%が「後継者いる」となっているが、43.0%が「後継者いない」となっている。(表12)

表12 第1回の後継者の状況別にみた第3回の後継者の状況

(単位:%)

	第3回の後継者の状況								
	総数	後継者 いる	後継者 育成中	これから 育成する	後継者 いない	廃業	経営譲渡	まだ決めて いない	
第1回の後継者の状況	(100.0)	100.0	21.2	5.3	4.9	65.3	26.1	1.4	37.0
後継者いる	(20.5)	100.0	74.4	6.4	3.5	12.9	3.2	0.1	9.0
後継者育成中	(5.9)	100.0	39.2	31.3	8.8	17.1	2.5	-	14.6
これから育成する	(6.2)	100.0	14.7	12.0	27.5	43.0	3.6	1.6	37.8
後継者いない	(64.4)	100.0	3.0	2.0	2.8	88.9	38.0	2.0	48.1
廃業	(22.9)	100.0	1.8	1.2	0.9	93.4	71.1	0.9	21.1
経営譲渡	(1.2)	100.0	6.0	6.0	6.0	78.0	18.0	26.0	34.0
まだ決めてない	(39.3)	100.0	3.4	2.4	3.8	87.0	19.4	1.8	64.7

注: 1) 第1回から第3回まで仕事のかたちが「自営業主」「家族従業者」で、離職経験のない者を集計。
2) 総数には後継者の状況不詳を含む。

3 - 2 第1回で回答した60歳以降の生活と就業状況

(1) 生活のまかない方と就業状況

60歳以降の生活を本人の働いて得た所得でまかなうと回答した者で、仕事ありの割合が高い。

第1回の「60歳以降(60～64歳)の生活を主に何によってまかなうつもりですか」という問に対し、「働いて得た所得・本人」と回答した者は、第1回から第3回までの就業状況の変化「ずっと仕事あり」の割合が高く、第3回で「(再掲)60・61歳」では、81.9%となっている(表13)。

60歳以降の生活のまかない方を、第3回の仕事のかたち別にみると、「働いて得た所得・本人」と回答した者の割合は、「自営業主」「会社・団体等の役員」で高くなっている(表14)。

表13 60歳以降の生活のまかない方別にみた第1回から第3回までの就業状況の変化

(単位:%)

		第1回の60歳以降(60～64歳)の生活のまかない方(主なもの3つまで)										
		総数	働いて得た所得			資産収入	預貯金の取り崩し	退職金	公的年金	私的年金	親族等からの仕送り	その他
			本人	配偶者	その他の同居人							
第1回から第3回 の就業状況 の変化	総数	(100.0)	(52.2)	(22.8)	(2.0)	(4.0)	(23.2)	(21.8)	(32.3)	(13.2)	(0.3)	(5.7)
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	ずっと仕事あり	72.3	88.0	55.5	58.7	70.0	65.1	76.4	64.9	68.5	47.6	68.5
	就業	3.4	2.0	5.4	3.6	3.7	3.4	2.1	4.0	2.7	8.7	5.2
	退職	6.8	5.2	7.6	7.1	7.1	8.1	8.3	8.3	8.3	4.9	5.9
	ずっと仕事なし	14.7	2.7	28.3	27.5	16.0	20.8	10.9	19.6	18.3	32.0	17.0
	その他	2.5	1.9	3.0	2.7	2.9	2.4	2.1	3.0	2.1	5.8	2.8
	(再掲)60・61歳	(100.0)	(52.6)	(22.4)	(2.1)	(4.3)	(21.9)	(18.7)	(45.0)	(14.0)	(0.3)	(5.0)
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	ずっと仕事あり	61.7	81.9	44.7	44.7	65.6	49.2	56.8	52.9	51.9	26.3	60.7
就業	3.2	1.6	4.5	1.6	3.3	3.3	2.7	3.8	2.8	5.3	4.9	
退職	11.5	9.5	10.9	8.1	10.2	14.3	21.9	13.9	15.3	-	9.5	
ずっと仕事なし	20.2	4.2	37.0	39.0	18.0	30.1	14.9	25.8	27.5	57.9	21.1	
その他	2.9	2.6	2.7	5.7	2.5	2.9	3.5	3.4	2.4	10.5	3.2	

注:総数には60歳以降の生活のまかない方・就業状況の変化不詳を含む。

表14 第3回の仕事のかたち別にみた60歳以降の生活のまかない方

(単位:%)

		第1回の60歳以降(60～64歳)の生活のまかない方(主なもの3つまで)										
		総数	働いて得た所得			資産収入	預貯金の取り崩し	退職金	公的年金	私的年金	親族等からの仕送り	その他
			本人	配偶者	その他の同居人							
第3回 の仕事の かたち	総数	100.0	52.2	22.8	2.0	4.0	23.2	21.8	32.3	13.2	0.3	5.7
	仕事をしている	100.0	61.7	18.4	1.6	3.9	21.0	22.6	29.6	12.4	0.3	5.6
	自営業主	100.0	76.9	10.4	1.6	7.0	13.3	2.7	22.7	10.4	0.2	6.4
	家族従業者	100.0	54.6	43.8	2.3	5.9	16.7	2.6	28.2	12.7	0.1	5.1
	会社・団体等の役員	100.0	74.7	10.9	0.7	8.0	15.9	19.9	23.4	11.6	0.1	3.8
	正規の職員・従業員	100.0	65.2	9.3	1.3	2.8	23.6	40.8	29.6	13.1	0.2	5.3
	パート・アルバイト	100.0	43.3	37.0	2.5	2.3	24.6	10.8	35.4	12.5	0.5	5.2
	労働者派遣事業所の派遣社員	100.0	58.4	19.1	1.2	-	18.5	12.1	30.1	9.2	0.6	5.8
	契約社員・嘱託	100.0	66.2	15.2	1.6	2.7	22.9	23.6	36.0	13.0	0.2	6.2
	家庭での内職など	100.0	35.1	45.0	4.3	1.9	21.8	8.5	31.8	12.8	1.4	6.2
	その他	100.0	50.4	20.7	1.1	5.1	20.3	17.5	32.5	12.5	0.4	10.6
	仕事をしていない	100.0	19.2	38.2	3.2	4.4	30.8	19.2	41.8	16.3	0.6	6.2
	(再掲)60・61歳	100.0	52.6	22.4	2.1	4.3	21.9	18.7	45.0	14.0	0.3	5.0
	仕事をしている	100.0	67.2	17.1	1.6	4.5	17.9	17.6	39.7	11.7	0.2	5.0
	自営業主	100.0	77.9	9.8	1.2	9.5	13.7	3.3	29.2	11.4	-	6.1
	家族従業者	100.0	57.6	43.1	3.7	6.3	19.7	3.7	36.8	13.0	0.4	5.2
	会社・団体等の役員	100.0	79.4	8.4	1.0	7.3	12.9	17.5	25.2	11.2	-	2.8
	正規の職員・従業員	100.0	71.6	8.2	1.4	2.5	17.2	26.8	40.8	11.0	0.2	4.5
	パート・アルバイト	100.0	53.1	31.8	2.0	2.3	21.6	12.5	50.1	10.8	0.4	4.8
	労働者派遣事業所の派遣社員	100.0	64.7	14.7	-	-	20.6	35.3	32.4	5.9	-	2.9
契約社員・嘱託	100.0	72.9	8.1	0.9	2.8	19.8	37.1	44.8	13.4	-	3.8	
家庭での内職など	100.0	43.1	47.1	5.9	3.9	23.5	7.8	41.2	9.8	2.0	3.9	
その他	100.0	51.4	18.6	0.7	2.9	20.0	15.0	45.0	14.3	-	10.0	
仕事をしていない	100.0	22.9	33.5	3.4	3.8	30.3	21.2	56.1	18.6	0.6	5.0	

注:総数には60歳以降の生活のまかない方不詳を含む。

(2) 60・61歳の者の就業

第1回で60歳以降も仕事をしたいと回答した82.3%が、実際に仕事をしている。
仕事をしたいと回答していたが仕事をしていない場合、健康状態の悪い割合が高い。

第3回で60・61歳の者の70.5%が、第1回に60歳以降(60～64歳)も「仕事をしたい」と回答しており、「仕事をしたい」と回答した者の82.3%が第3回も「仕事をしている」。第1回に希望する仕事のかたち「自営業主」の68.0%が第3回に「自営業主」として仕事をしており、希望する仕事のかたちと第3回の仕事のかたちが同じ割合が一番高くなっている。(表15)

第1回就業希望と第3回仕事の有無別に第3回健康状態をみると、第1回「仕事をしたい」、第3回「仕事をしていない」では、「仕事をしている」に比べてよい(「大変良い」「良い」「どちらかといえば良い」)の割合が低くなっている(図9)。

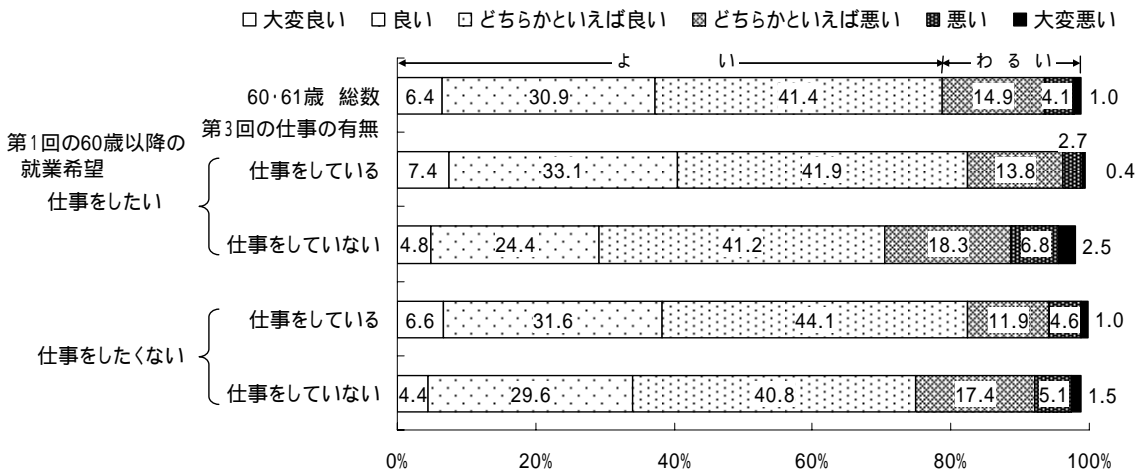
表15 第3回の仕事のかたち別にみた60歳以降の就業希望

(単位: %)

	第1回の60歳以降(60～64歳)の就業希望の有無と、希望する仕事のかたち										
	総数	仕事をしたい	自営業主	家業の手伝い	家庭での内職など	雇われて働く		近所の人や会社に頼まれて任意に行う仕事	有償型の社会参加活動	その他のかたち	仕事はしたくない
						フルタイム	パートタイム				
60・61歳 総数	(100.0)	(70.5)	(14.8)	(5.4)	(2.7)	(16.4)	(20.4)	(5.7)	(3.6)	(3.8)	(25.2)
第3回の仕事のかたち	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
仕事をしている	67.0	82.3	94.1	88.6	50.3	86.9	75.6	73.8	61.8	76.1	27.3
自営業主	13.2	17.1	68.0	17.2	3.2	2.0	1.2	3.4	4.4	5.0	2.5
家族従業者	4.7	5.8	5.5	50.3	3.9	0.3	0.9	1.5	2.0	4.1	1.9
会社・団体等の役員	5.0	6.1	6.4	5.8	-	8.3	1.2	7.3	6.4	16.1	2.0
正規の職員・従業員	14.7	17.7	5.3	5.5	0.6	39.0	11.6	22.6	13.7	19.7	7.4
パート・アルバイト	14.7	17.8	2.9	4.9	15.5	7.9	44.8	16.5	12.7	11.9	7.3
労働者派遣事業所の派遣社員	0.6	0.7	0.1	-	-	1.6	0.9	0.9	2.0	0.5	0.2
契約社員・嘱託	10.1	12.5	3.4	-	3.9	24.3	11.9	16.8	12.7	8.3	4.2
家庭での内職など	0.9	1.0	0.1	0.6	20.6	0.1	0.5	0.3	0.5	1.4	0.3
その他	2.4	2.8	1.6	3.9	1.3	2.7	1.6	3.0	6.4	9.2	1.4
仕事をしていない	32.7	17.5	5.7	11.4	48.4	13.1	24.2	26.2	38.2	23.9	72.5

注：1) 総数には60歳以降の就業希望の有無・第3回の仕事の有無不詳、仕事をしたいには希望する仕事のかたち不詳、仕事をしているには仕事のかたち不詳を含む。
2) 「仕事をしたい」は、第1回の「60歳以降、いつまで収入を伴う仕事をしたいですか」という質問に対し、「可能な限り仕事をしたい」「一定の年齢まで仕事をしたい」と回答した者。

図9 第1回の60歳以降の就業希望・第3回仕事の有無別にみた第3回健康状態



注：1) 各項目の総数には健康状態の不詳を含む。
2) 「仕事をしたい」は、第1回の「60歳以降、いつまで収入を伴う仕事をしたいですか」という質問に対し、「可能な限り仕事をしたい」「一定の年齢まで仕事をしたい」と回答した者。

第1回の就業希望と第3回の仕事の有無別に、第3回の借入金・預貯金の状態をみると、借入金「あり」の割合は、「仕事をしたい・第3回仕事をしている」(39.2%)と、「仕事はしたくない・第3回仕事をしている」(28.9%)で高くなっている。また、「仕事はしたくない」では預貯金「あり」(79.9%)の割合が高く、金額階級が高い割合も多い。(表16)

第1回の就業希望と第3回の仕事の有無別に、第3回の同居していない親族への経済的支援の状況をみると、「同居していない親族への経済的な支援をしている」割合は、「仕事をしたい・第3回仕事をしている」(14.2%)と、「仕事はしたくない・第3回仕事をしている」(18.2%)で高くなっている(表17)。

表16 第1回の60歳以降の就業希望・第3回の仕事の有無別にみた
第3回の借入金・預貯金の状況

(単位: %)

	第3回の借入金・預貯金の状況							
	総数	あり	金額階級					なし
			100万円未満	100～500万円未満	500～1000万円未満	1000～2000万円未満	2000万円以上	
借入金の状況								
第3回 60・61歳 総数	100.0	32.3	2.9	9.4	5.3	5.1	4.1	65.0
第1回の60歳以降の就業希望								
仕事をしたい	100.0	37.0	3.5	11.0	6.2	5.9	4.5	60.5
第3回 仕事をしている	100.0	39.2	3.6	11.7	6.6	6.3	4.9	58.5
第3回 仕事をしていない	100.0	27.1	3.3	7.6	4.1	4.2	2.7	70.7
仕事はしたくない	100.0	19.0	1.5	5.2	3.0	3.3	3.0	79.2
第3回 仕事をしている	100.0	28.9	3.0	7.3	5.3	5.3	4.3	70.6
第3回 仕事をしていない	100.0	15.4	1.0	4.4	2.2	2.5	2.5	82.4
預貯金の状況								
第3回 60・61歳 総数	100.0	72.1	2.5	15.1	13.5	15.4	19.2	22.4
第1回の60歳以降の就業希望								
仕事をしたい	100.0	70.9	2.9	16.9	14.3	14.7	16.1	24.2
第3回 仕事をしている	100.0	70.8	2.9	17.0	14.9	14.4	15.7	24.3
第3回 仕事をしていない	100.0	71.5	3.0	16.6	11.6	16.3	18.3	23.8
仕事はしたくない	100.0	79.9	1.5	10.1	12.5	19.0	29.6	15.6
第3回 仕事をしている	100.0	78.5	2.0	11.1	16.2	14.7	27.3	19.0
第3回 仕事をしていない	100.0	80.6	1.2	9.7	11.1	20.6	30.6	14.3

注：1) 総数には借入金の有無、預貯金の有無不詳、借入金ありと預貯金ありには金額の不詳を含む。

2) 「仕事をしたい」は、第1回の「60歳以降、いつまで収入を伴う仕事をしたいですか」という質問に対し、「可能な限り仕事をしたい」「一定の年齢まで仕事をしたい」と回答した者。

表17 第1回の60歳以降の就業希望・第3回の仕事の有無別にみた
第3回の同居していない親族への経済的支援の状況

(単位: %)

	総数	同居していない親族へ経済的支援をしている	(再掲)		経済的支援をしていない
			ほとんど毎月支援している	ボーナス時など時々支援している	
第3回 60・61歳 総数	100.0	13.7	9.4	5.4	83.2
第1回の60歳以降の就業希望					
仕事をしたい	100.0	14.0	9.8	5.4	82.9
第3回 仕事をしている	100.0	14.2	9.8	5.6	82.8
第3回 仕事をしていない	100.0	13.3	9.5	5.0	83.4
仕事はしたくない	100.0	13.2	8.7	5.9	84.6
第3回 仕事をしている	100.0	18.2	13.2	6.3	79.7
第3回 仕事をしていない	100.0	11.4	7.0	5.7	86.6

注：1) 総数には経済的支援の状況不詳を含む。

2) 「仕事をしたい」は、第1回の「60歳以降、いつまで収入を伴う仕事をしたいですか」という質問に対し、「可能な限り仕事をしたい」「一定の年齢まで仕事をしたい」と回答した者。

3 - 3 仕事をやめた者の状況

(1) 離職経験のある者の状況

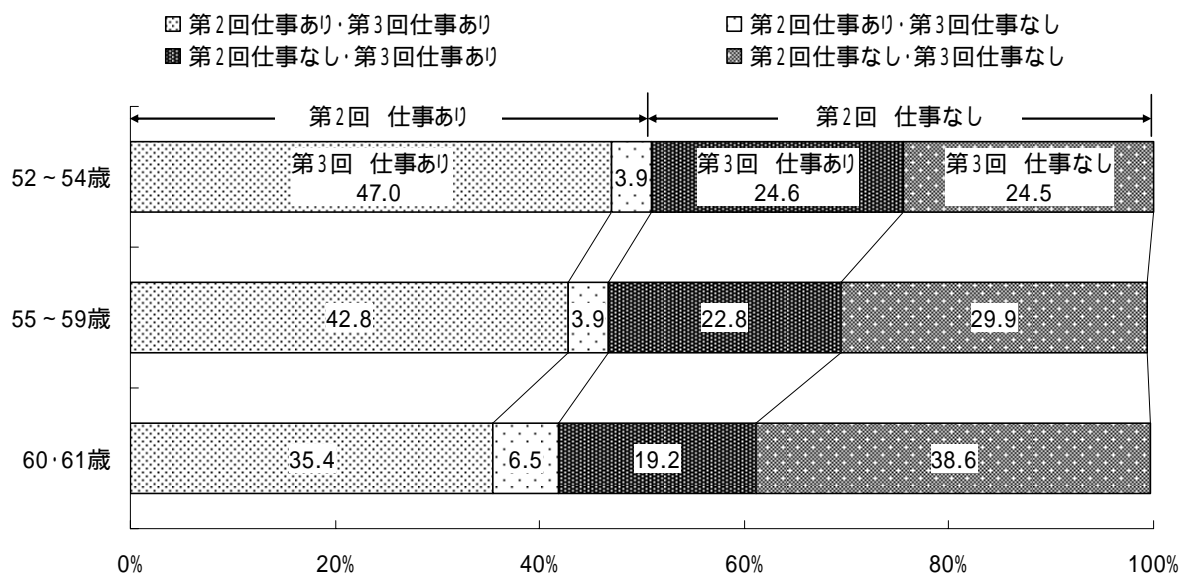
離職後に仕事ありとなる割合は、

年齢階級が低い者や、仕事のための資格取得や能力開発をしている者で高くなっている。

第1回から第2回までの間に仕事をやめた経験のある者について、第2回以後の仕事の有無をみると、「仕事あり」の割合は、第2回、第3回とも年齢階級が低い方で高い。離職後、仕事をしていない者の割合（「第2回仕事なし・第3回仕事なし」）は、「60・61歳」で38.6%となっている。（図10）

第1回から第2回までの間に仕事をやめた経験のある者について、第2回以後の仕事の有無をみると、「仕事あり」の割合は、仕事のための「免許・資格取得」や「能力開発・自己啓発」を「した」で高くなっている。第2回の「免許・資格取得」や「能力開発・自己啓発」を「した」では、「第2回仕事なし・第3回仕事あり」の割合も高くなっている。（表18）

図10 第3回の年齢階級別にみた離職者の仕事の状況



注：総数には仕事の有無不詳を含む。

表18 免許・資格、能力開発・自己啓発の有無別にみた離職者の仕事の状況

(単位：%)

	第2回					第3回				
	総数	免許・資格取得		能力開発・自己啓発		総数	免許・資格取得		能力開発・自己啓発	
		した	しなかった	した	しなかった		した	しなかった	した	しなかった
離職経験がある者	(100.0)	(4.4)	(92.2)	(18.1)	(77.5)	(100.0)	(3.1)	(92.8)	(16.1)	(79.0)
第2回 仕事あり	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第3回 仕事あり	46.7	61.9	45.6	57.4	43.9	46.7	57.3	46.7	65.5	43.5
第3回 仕事なし	41.8	58.1	40.8	53.0	39.0	41.8	53.3	42.0	62.3	38.6
第2回 仕事なし	4.6	3.8	4.5	4.4	4.6	4.6	4.0	4.6	3.1	4.8
第3回 仕事あり	53.3	38.1	54.4	42.6	56.1	53.3	42.7	53.3	34.5	56.5
第3回 仕事なし	22.3	28.6	22.3	23.6	22.1	22.3	32.0	21.7	22.1	21.8
第3回 仕事なし	30.9	8.6	32.1	19.0	33.9	30.9	10.7	31.6	12.5	34.8

注：総数には免許・資格取得の有無、能力開発・自己啓発の有無と仕事の有無不詳を含む。

(2) 退職者の状況

退職した者の51.6%が「仕事をしたい」と考えており、
「仕事をしたい」のうち59.1%が仕事探しや開業準備をしている。

退職者(第1回で仕事をしていて第3回までに仕事なしとなった者)の、第3回の就業希望の状況をみると、「仕事をしたい」は51.6%となっている。これを年齢階級別にみると、「52～54歳」は58.0%、「60・61歳」は46.0%で、年齢階級が低い方が高い。希望する仕事のかたちは、どの年齢階級も「雇われて働く(パートタイム労働)」の割合が高く、「52～54歳」「55～59歳」では、「雇われて働く(フルタイム労働)」の割合も高くなっている。(表19)

第3回に「仕事をしたい」と回答した退職者のうち、「仕事探し・開業準備をしている」は、59.1%となっている。仕事をしたいが「何もしていない」理由は、「52～54歳」「55～59歳」は「病気・けがのため」、「60・61歳」は「急いで仕事につく必要がない」の割合が高くなっている。(表20)

表19 年齢階級別にみた退職者の第3回の就業希望の状況

(単位:%)

	総数	52～54歳	55～59歳	60・61歳
退職者	100.0	100.0	100.0	100.0
仕事をしたい	51.6	58.0	52.9	46.0
自営業主	2.8	3.4	3.3	1.8
家業の手伝い	0.9	1.3	1.0	0.6
家庭での内職など	3.8	3.4	3.3	4.7
雇われて働く(フルタイム労働)	11.0	17.2	11.4	6.8
雇われて働く(パートタイム労働)	22.3	23.2	23.0	20.6
近所の人や会社に頼まれて任意で行う仕事	2.6	1.8	2.8	2.7
有償型の社会参加活動	2.6	2.3	2.4	3.2
その他	2.5	2.6	2.5	2.6
仕事をしたくない	43.6	37.1	40.6	51.7

注：1) 退職者の総数には就業希望の有無不詳、仕事をしたいには希望する仕事のかたち不詳を含む。
2) 「退職者」とは、第1回で仕事をしていて第3回までに仕事なしとなった者をいう。

表20 年齢階級別にみた退職者の第3回の仕事探し等の状況

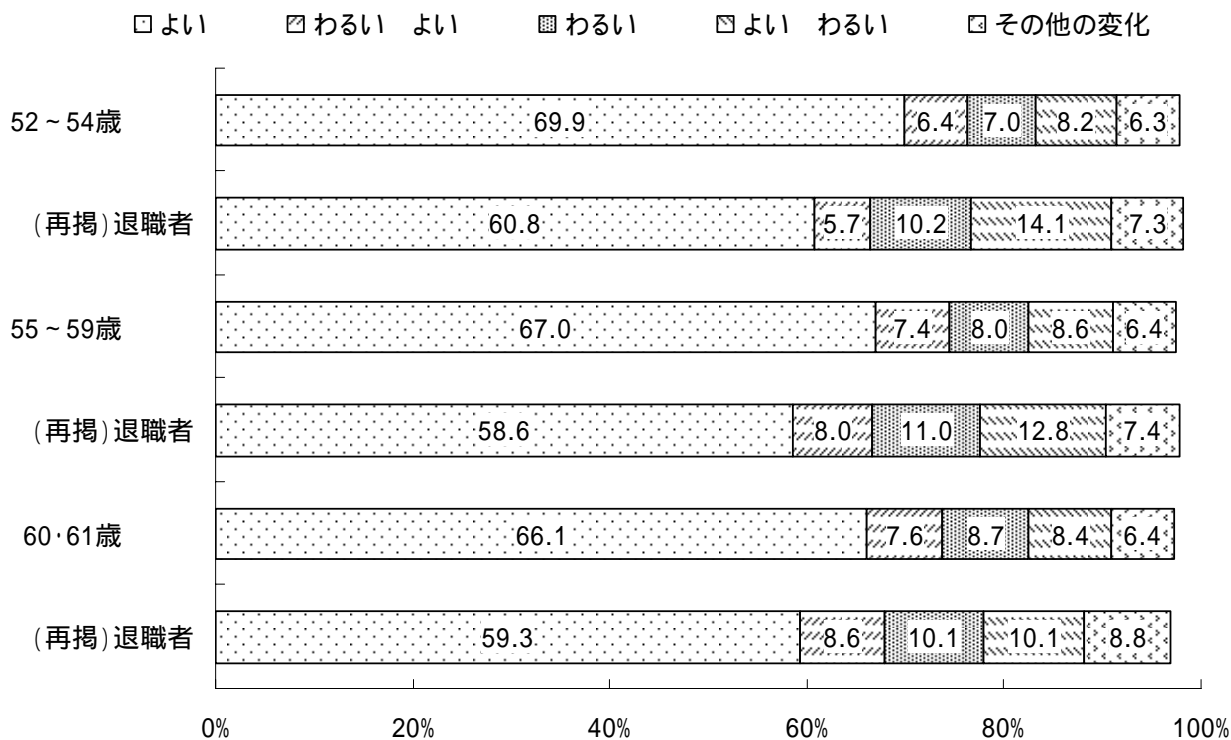
(単位:%)

	総数	52～54歳	55～59歳	60・61歳
「仕事をしたい」退職者	100.0	100.0	100.0	100.0
仕事探し・開業準備をしている	59.1	58.1	60.2	57.9
仕事を探している	55.5	55.4	56.6	53.6
開業の準備をしている	3.6	2.7	3.5	4.3
何もしていない	38.2	39.6	37.7	38.2
探したが見つからなかった	4.0	2.7	3.5	5.9
希望する仕事がありそうにない	5.4	5.9	5.9	4.3
知識・能力に自信がない	1.4	1.8	1.6	1.0
病気・けがのため	9.2	9.5	10.2	7.2
高齢のため	1.2	-	1.2	2.0
家事や育児のため	2.8	3.6	2.7	2.3
家族の介護・看護のため	4.8	5.4	5.3	3.6
急いで仕事につく必要がない	6.5	6.8	5.1	8.6
その他	2.8	4.1	2.0	3.3

注：1) 退職者の総数には仕事探し等の状況不詳、何もしていないには理由の不詳を含む。
2) 「退職者」とは、第1回で仕事をしていて第3回までに仕事なしとなった者をいう。

年齢階級別に第1回から第3回までの健康状態の変化をみると、「(再掲)退職者」(第1回で仕事をしていた第3回までに仕事なしとなった者)では、どの年齢階級でも各年齢階級の総数に比べ健康状態が「よい」の割合が低く、「よい わるい」(第1回が「大変良い」「良い」「どちらかといえば良い」のいずれかで、第3回までに「どちらかといえば悪い」「悪い」「大変悪い」のいずれかになった者)、「わるい」の割合が多くなっている(図11)。

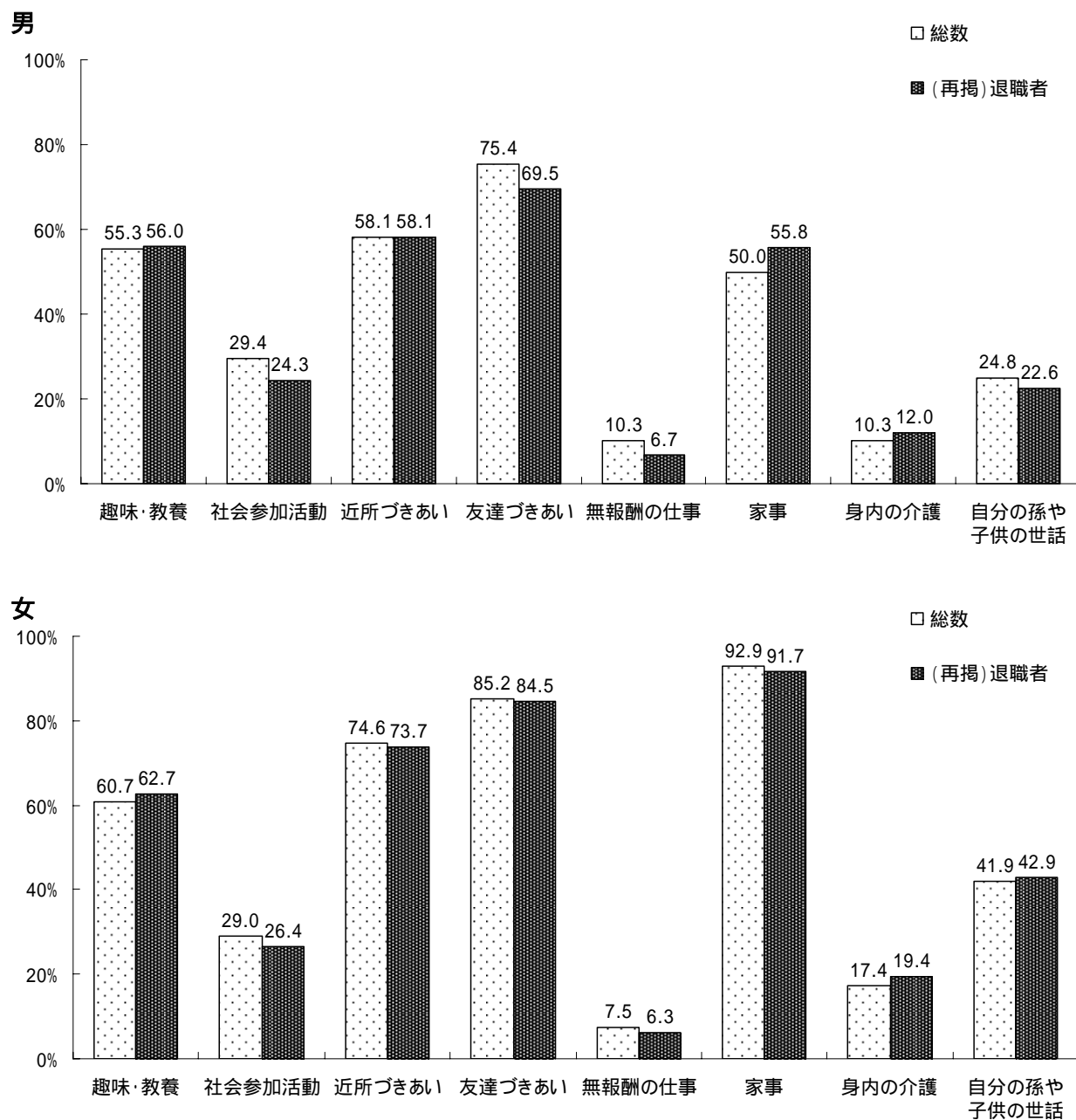
図11 年齢階級別にみた第1回から第3回までの健康状態の変化



- 注：1) 各項目の総数には健康状態の変化不詳を含む。
 2) 「退職者」とは、第1回で仕事をしていた第3回までに仕事なしとなった者をいう。
 3) 「よい」は、第1回から第3回まで、健康状態が「大変良い」「良い」「どちらかといえば良い」のいずれかをいう。
 4) 「わるい」は、第1回から第3回まで、健康状態が「大変悪い」「悪い」「どちらかといえば悪い」のいずれかをいう。

第3回のふだんの活動の状況をみると、活動している割合は、男では「友達づきあい」「近所づきあい」「趣味・教養」、女では「家事」「友達づきあい」「近所づきあい」が高い。「(再掲)退職者」(第1回で仕事をしていて第3回までに仕事なしとなった者)も同様の傾向となっている。(図12)

図12 第3回のふだんの活動(複数回答)の「活動あり」の状況



注:「退職者」とは、第1回で仕事をしていて第3回までに仕事なしとなった者をいう。

参 考

各図表の集計客体数は、下記のとおり。

図表番号	集計対象	客体数		
		総数	男	女
下記の 図表以外	第1回から第3回まで回答した者	29 772	14 369	15 403
	52～54歳	7 693	3 669	4 024
	55～59歳	16 347	7 902	8 445
	60・61歳	5 732	2 798	2 934
図2	第1回から第3回まで同じ同居者の構成	20 632		
	単独世帯	1 240	-	-
	夫婦のみの世帯	4 617	-	-
	三世帯世帯	4 208	-	-
	親あり子なしの世帯	2 085	-	-
	親なし子ありの世帯	8 325	-	-
	第1回から第3回までに同居者の構成変化あり	9 140	-	-
	子と同居しなくなった 親と同居しなくなった 子と同居した 親と同居した	3 628 1 448 1 199 494	- - - -	- - - -
図3・4 図5(一部)	第3回に介護をしている	3 204	1 160	2 044
	第1回から介護をしている〔介護相手の続柄が同じ〕	793	-	-
表11	第1回の仕事のかたちが 「会社・団体等の役員」「正規の職員・従業員」のうち、 第3回で52～59歳の者	10 231	-	-
表12	第1回から第3回までの仕事のかたちが 「自営業主」「家族従業者」〔離職経験なし〕	4 060	-	-
図10 表18	第1回から第2回までの間に仕事をやめた経験がある	2 390	-	-
	52～54歳	568	-	-
	55～59歳	1 192	-	-
	60・61歳	630	-	-
表19・20 図11・12 (一部)	退職者(第1回で仕事をしていて第3回までに仕事なしとなった)	2 012	-	-
	52～54歳	383	-	-
	55～59歳	968	-	-
	60・61歳	661	-	-

用語の定義

「調査年」

「第1回」～「第3回」とは、それぞれの回の調査で把握した項目で、各調査年は次のとおり。

第1回(第1回調査) 平成17年

第2回(第2回調査) 平成18年

第3回(第3回調査) 平成19年

「配偶者」「夫婦」

事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。

「介護」

介護をしている者と同居していない場合を含む。

介護時間は、調査年の10月における、平均した1週間当たりの時間。

「健診」

調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に受診した健康診断や健康診査をいう。

「仕事をしている」

ふだん収入になる仕事をしていて、今後も仕事をしていくことになっている場合をいう。

「仕事をしていない」

パート・アルバイト、内職等も全くしていない場合をいう。

就業状況

「ずっと仕事あり」

第1回から第3回まで、調査時に「仕事をしている」と回答した場合をいう。仕事をやめた後、別の仕事に就いている場合を含む。

「就業」

第1回に「仕事をしていない」者のうち、第3回までに「仕事をしている」となった場合をいう。第2回で「仕事をしている」、第3回で「仕事をしていない」と回答した場合は就業状況「その他」としている。

「退職」

第1回に「仕事をしている」者のうち、第3回までに「仕事をしていない」となった場合をいう。第2回で「仕事をしていない」、第3回で「仕事をしている」と回答した場合は、就業状況「その他」としている。

「ずっと仕事なし」

第1回から第3回まで、調査時に「仕事をしていない」と回答した場合をいう。前回の調査から次の調査までの間に仕事に就いて、調査日までに仕事をやめた場合を含む。

「離職」

調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験をいい、仕事をやめた後、現在別の仕事に就いている場合を含む。

仕事のかたち

「自営業主」

個人経営の商店主・工場主・農業主等の事業主や開業医・弁護士・著述家・行商従事者等をいう。

なお、法人組織(株式・合資・合名の各会社)になっている商店の経営者の場合は、「会社・団体等の役員」としている。

「家族従業者」

農家や個人商店等で農作業や店の仕事等を手伝っている家族をいう。

「会社・団体等の役員」

会社の社長・取締役・監査役、団体の理事(長)・監事、公団や事業団の総裁・理事等をいう。

なお、部長、課長等のいわゆる管理職の場合は、理事等の役員になっていなければ、含まれない。

「正規の職員・従業員」

会社・団体・官公庁・個人商店等に雇用期間の定めなく雇われている人をいう。

「パート・アルバイト」

就業時間や日数に関係なく、勤務先で「パートタイマー」「アルバイト」または、それらに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「労働者派遣事業所の派遣社員」

労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいう。

「契約社員・嘱託」

専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用されている人や雇用期間の定めのある人、労働条件や契約期間に関係なく、勤務先で「嘱託職員」または、それに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「家庭での内職など」

家庭で賃仕事をしている人をいう。

「その他」

仕事のかたち「自営業主」～「家庭での内職など」以外をいう。

「60歳以降の生活」

「生活のまかないかた」

第1回に、60歳以降の生活のための収入として、「60～64歳」「65～69歳」「70歳以降」の年齢区分ごとに選択した主な3つをいう。今回の集計では「60～64歳」の年齢区分の回答を使用した。

「60歳以降に希望する仕事のかたち」

第1回に、60歳以降いつまで収入を伴う仕事をしたいかについて、「可能な限り仕事をしたい」、「一定の年齢まで仕事をしたい」と回答した者が、「60～64歳」「65歳以上」の年齢区分ごとに希望している仕事のかたちで、複数回答による。今回の集計では、「60～64歳」の年齢区分の回答を使用した。

「近所の人や会社に頼まれて任意で行う仕事」

会社などに雇われてその指揮・監督の下に拘束されて仕事をするわけではなく、近所の人や会社、事務所などが忙しいときなどに頼まれて一時的に仕事を手伝う場合をいう。

「免許・資格」

調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間で、仕事のために取得した免許・資格をいう。

「能力開発・自己啓発」

調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間で、仕事のために行った能力開発・自己啓発をいう。

「ふだんの活動」

ふだんの活動についての回答による。

「社会参加活動」

地域行事やボランティア、高齢者支援などの活動をいう。

「無報酬の仕事」

民生委員、児童委員、保護司、PTA役員等、報酬のない仕事のことをいう。